

Merc 感覚と機能 抜粋

<感覚> ~のような。感じる。~の感覚。~い痛み。~感。

総体：焼けるような。ひりひりする。焼けるような。刺されるような。すべてが不足に感じられる。身体が汗でできているように感じる。

精神：理性がなくなっていると感じる。悪いことが差し迫っている感じ。

頭部：ブランコに乗っているような。頭部をベルトで絞められているような。ひりひりする。

目：焼けるような。刺激性の。焼けるような。刺激性の。霧がかかったような。

耳：耳から冷水が流れ出るような。耳の中の冷たい感覚。

鼻：ひりひりする。刺激性の。ねっとりしている。ひりひりする。

口：膿のよう。長くなったよう。締まりがない。針で刺したような。チクチクする。

何かが喉を上がってくるよう。甘く感じられる。

喉：ひりひり。刺されるよう。熱い蒸気が上がってくるかのような。灼熱感。

リンゴのシン、梨がつかえる、または何かがぶら下がっているような。刺されるような。

胃：充満して締め付けられるよう。

腹部：ひりひりする。内臓が弱いよう。腸が打撲したよう。飛び出しそう。どうしても全部で切らないよう。

泌尿器：灼熱感。

女性：ひりひり。刺されるような。

呼吸器：刺されるよう。泡立つような。熱蒸気のような。

首背中：焼けるような。引き裂かれるような。

四肢：氷のように。膝が大きいよう。

皮膚：生肉のよう。切られるよう。

熱：ぞくぞくする。脂っばい、臭い、酸っぱい、強い甘い突き刺すような刺すような。

<機能／動詞>

総体：ひどい貧血症になる。苦しむ。定まらない。震える。疼きを伴う。疲れ果て、今にも倒れそう。

精神：どもる。振戦※を伴う。

振戦：筋肉の収縮、弛緩が繰り返された場合に起こる不随意のリズミカル運動である。

だれしも起こりうる症状でストレス、不安、疲労、アルコールの離脱症状（禁断症状）、甲状腺機能亢進症（甲状腺の働きが過剰になる）、カフェイン摂取、刺激薬（エフェドリンなど）の使用などで出る場合がある。ふるえともいう。

遠くに行きたいという。いたずら、ばかげたこと、むかつくようなことをする。

疲れ切っている。めそめそする。すべてを忘れる。ぶつぶつ言う。不平を言う。

頭部：頭を振り、うめく。触れると痛む。

眼：両目が引き寄せられる。

耳：広がる。血が混じっている。

鼻：くしゃみを多くする。上方に移動する。目に影響する。黒い筋のようになる。くしゃみをする。

顔：ふくらんでいる。

口：空洞になる。流出する。甘い味、金属味がする。ゆがめることで応える。どもる。甘く感じる。

喉：つかえる。大きな塊を咳払いで出す。鼻から出る。

胃：欲求する。

腹部：痛みを伴う。しぶりを伴う。

泌尿器：痒みを起こす。多く排出する。

男性：引っ張ったりかいたりする。

女性：乳がたまる。膿瘍が出る。疲労する。

呼吸器：痰を吐く。

心臓：振戦で目覚める。

皮膚：好転しない。潤っている。拡散する。出血する。

熱：交互に現れる。緩和はない。黄色いしみになる。